

第3回地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会の開催結果

- 日 時 平成25年8月14日(水) 13:30～15:10
- 会 場 京都府医師会館 601会議室
- 出席者 別添のとおり
- 主な意見

アクションプラン中間案

(認知症総合対策の充実)

- 「認知症を早期発見・早期対応できるシステムの確立」について、「地域による認知症高齢者の早期発見」を入れてはどうか。
また、若年性認知症については、「社会参加」や「就労支援」が必要ではないか。
- 若年性認知症における「就労」の問題は、本人の場合は、リハビリとして認知症を進行させない対策の一つとして考えられるが、家族介護者の就労を継続するにはどうすべきかを分けて考えればどうかと思う。
- 「医療資源の地域格差の是正」とあるが、何らかの介護資源を加えてはどうか。
- 「府民に対する普及啓発」に含まれるとは思いますが「キャラバンメイト」ということばをあえて記載いただきたい。
- 「認知症の人を対象とした運転免許証の返納の促進」について、運転を辞めたあとの移動手段について、地域の中で構築していく必要がある。
- 認知症の方の入院時や検査の説明・同意等が必要だが、後見人は、支払には対応するが、医療面については対応してもらえない。独居高齢者で認知症の場合、医療を受けやすくするシステムが必要。

(推進体制)

- 「介護基盤の整備支援」については、介護基盤の整備が地域の中で行われることが必要。
- サービス付き高齢者向け住宅を推進するのはよいが、問題が多いので、推進だけでなく、内容の充実を加えていただきたい。
- どの住まいであっても一定の質が担保されるべきなので、質を担保するということを盛り込むべきではないか。

地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会(第3回) 出席者名簿【8/14】

区分	氏名	所属等	出欠	
学識経験者等	岡本 民夫	同志社大学 名誉教授	○	
	山田 尋志	地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表	○	
	宮本 隆司	社会福祉法人京都府社会福祉協議会 常務理事	○	
各分野の現場実務者	拠点病院	久野 成人	一般社団法人京都私立病院協会 副会長	○
		清水 紘	京都療養病床協会 会長	○
	在宅医療	北川 靖	一般社団法人京都府医師会 副会長	○
		松本 尚子	公益社団法人京都府看護協会 専務理事	○
		佐藤 雅之	一般社団法人京都府歯科医師会 常務理事	○
		宇野 進	一般社団法人京都府薬剤師会 副会長	○
	介護サービス	荻野 修一	一般社団法人京都府老人福祉施設協議会 会長	○
		吉良 厚子	社団法人京都府介護支援専門員会 事務局長	○
	見守り インフォーマルサービス	三井 健史	特定非営利活動法人丹後福祉応援団 理事長	○
	サービス利用者	荒牧 敦子	公益社団法人認知症の人と家族の会 京都府支部代表	○
山下 宣和		社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 事務局次長	○	
市町村	谷利 康樹	京都市 保健福祉局長寿社会部長寿福祉課長	-	
	山口 孝幸	宮津市 健康福祉室長	-	
	花木 秀章	井手町 高齢福祉課長	-	